

## 平成24年度 向日市競輪対策協議会議事録

- 開催日時** 平成25年2月7日（木） 午前10時30分～11時30分
- 開催場所** 向日市民会館 第2会議室
- 出席委員** 久嶋市長（会長）、兒玉副市長（副会長）、片岡区長会長、中村寺戸町連合自治会長、嶋田向日区長、小森向日市商工会副会長（会長代理）、田中小・中学校長会会長、安田府議会議員、辻山市議会議長、山田市議会副議長、丹野競輪場対策特別委員会会長、天野競輪場対策特別委員会副委員長、小林山城広域振興局副局長、岸本自転車競技事務所長、斉藤乙訓土木事務所長、浦向日町警察署地域課長（署長代理）、西川京都府総務部副部長、西村京都府総務部理事
- 欠席者** 田中向日市PTA連絡協議会代表、中野向日台連合自治会長
- 事務局**  
（向日市） 五十棲市長公室長、酒井市民生活部長、物部市長公室次長兼企画調整課長、安田企画調整課長補佐、中村市民生活部次長兼防災安全課長、永井防災安全課長補佐、長田主任、細見主査
- 関係職員**  
（京都府） 近藤自転車競技事務所次長、西野同事務所庶務課長、河野総務調整課主査
- 傍聴者** なし
- 議 題** (1) 平成23年度競輪開催状況等について  
(2) その他
- 内 容**
- 自転車競技事務所長 議題（1）平成23年度競輪開催状況等について説明
- P 1 「入場人員及び売上額推移」

「本場開催」・・・向日町競輪場でレースを行うもの  
「場外開催」・・・他の競輪場で開催されているレースの車券売  
場となっている場合の状況を示したもの

#### 本場開催時のピーク

平成2年度 来場：57万6千人 売上：356億円

↓

平成10年度 売上が200億円割る

↓

平成23年度 来場：12万3千人 売上：113億円

- 平成15、19年度については、特別競輪が開催されたこと（15年度「ふるさとダービー」、19年度「共同通信社杯」）により売上が一時的に増加している。

#### P2 「駐車場の利用状況推移」

- 駅からの無料送迎バスのほか、車で来場するお客様のために1,208台の駐車スペースを確保している。

平成23年度の実績では

- ・本場開催 平均529台/日
- ・場外開催 平均407台/日 となっている。

#### P3 「平成23年度入場人員・売上額・駐車状況」

- 1月は平安賞の開催により入場人員・売上額が多くなっている。

#### P4 「施設利用状況」

- 平成22年度から本場開催日以外も卓球場を開放したため、利用日数及び利用者数が増加している。

#### そ の 他

##### サマータイム競輪について

- 平成24年度については、夏場に2回開催
- 開始時間を遅らせることで電話投票の売上増が見込める。

##### ガールズケイリンについて

- 48年ぶりに復活した。

○ 10月22日～24日にF1レース開催時に近畿で初めて開催した。若年層、女性層の入場者も多く見られた。

平成24年度の平安賞について

○ 9月27日から30日に平安賞を開催する予定であったが、台風のため最終日が1日延期になり、他場と日程が重なったため売上が23年度を下回った。

制度改正について

○ 払戻率が75%であるのを70%まで引下げることができることとなったが、全国的にまだスタートしていない。

その他

○ 記念レース以外（F1，F2レース）は1回の開催で3千万円～5千万円の赤字が発生している。

○ 選手数を削減することも開催経費削減の中に入っている。

会 長 自転車競技事務所から説明がありました、平成23年度競輪開催状況等について、ご質問がございましたらお願いします。

委 員 収支が黒字であれば、市への交付金は黒字に応じて増額すべきであり、平成25年度は、交付金の増額について、府の配慮をお願いしたい。

制度改革の状況などは、不安定な要素が多く、競輪事業を黒字化するための抜本的なものがないと思われるが、売上の増加対策について、どのように考えているのか。

ガールズケイリンについても、競輪場の設備が女性客に対応できるような仕様になっておらず、ファン層の拡大につながっていないのではないのか。

また、競輪場を今後どのようにしていくかが分かりにくい。京都府としての今後の方針をどのように考えているのか。

京 都 府  
西川副部長 市への交付金の増額については、市からも要望を受けているが、売上の減少が続き、経営が厳しい中でも地元への協力金として確保している状況であり、増額は困難であることをご理解願いたい。

売上の確保については、ガールズケイリンだけでなく、新規顧客の確保に向けて様々な取組を行っているが、お客様の高齢化・固定化が進み、若年層がギャンブル自体への関心が少ない中で、全

国的に公営競技の売上が減少しており、新規顧客の確保等の抜本的な対策には至っていない。

今後の対応等は、現時点では具体的に示せる状況にないが、売上の減少傾向が続いており、平成24年度は黒字を確保できるものの、昨年度と比べて大幅に黒字額は減少する見込みであり、客観的に経営が大きく好転する要素がない。

当面は、平成25年度までは黒字を何とか確保できると考えており、庁内で廃止に伴う課題の検討を続けている状況である。

**委員** 競輪事業を黒字化するために期待できるのは、制度改革と思われるが、払戻率の引き下げなど、制度改革が実施される見込みはどうか。

京 都 府  
西川副部長

制度改革は、全国で統一した実施が基本であるため、全国の競輪施行者が協議する場で、払戻率引き下げや開催日数削減の早期実施を要望し、現在、関係団体において、プロジェクトチームが設置され協議が進められているが、具体的な実施内容や時期は未定である。

こうした制度改革が実施された場合も、売上の減少傾向が継続している状況では、抜本的な収支改善にならないと考えている。

**委員** 競輪場の施設を市民が利用できることを、市民があまり知らないのので、市民にもっと周知を図ってはどうか。また、施設も老朽化で使いづらい点も多く、利用しやすい施設に改善できないか。

自転車競技  
事務所長

施設の利用は、競輪場でのPRだけでは限界があるため、市の広報などで周知をお願いできればと考えており、市とも相談したい。経費削減により何とか黒字を確保している状況であり、施設については、安全面確保のための整備を行っている。利便性の向上のための整備は予算的に難しいが、市民に少しでも利用していただけるように検討したい。

京 都 府

西川副部長 競輪事業を実施している限りは、朝市や向日市まつりなど、地元の方に少しでも競輪場を使ってもらえるように、市とも相談して調整していきたい。

会 長 最後に議題の（２）その他に入りたいと思いますが、何かご意見はございませんか。

委 員 競輪場の存廃について、府が早く意思決定するように要望することが、本協議会として必要ではないか。

会 長 ご要望として、お受けいたします。

委 員 向日町競輪場は、大規模な災害発生時の避難場所として提供をいただいているが、今後も避難場所として確保をお願いしたい。

京 都 府  
西川副部長 跡地利用の問題とも関係するので、今後、向日市と協議していきたい。

委 員 競輪場をどうしていくかは、本協議会の場で決められるものではなく、払戻率の変更などの制度改革も全国的に決められるもので、いつ実施されるか分からない。

競輪場がいずれ無くなるのであれば、本協議会として、府に対して市の思いを伝え、要望を行うべきではないか。市の考え方を府に出さないかぎりには、府でも検討ができないと思われるので、協議をお願いしたい。

会 長 市へのご要望としてお聞きしておくが、本協議会は、競輪開催中の要望や意見を協議する場で、存廃を協議する場ではないためご理解願いたい。

会 長 意見も出尽くしたようでございます。京都府におかれましては、この場で出ました意見ご要望を十分ご検討いただき、今後の競輪運営に当たっていただきたいと思っております。